

**製品名: MAP4K4 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80664**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	142kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP4K4
別名	HGK; NIK
遺伝子 ID	9448.0
SwissProt ID	O95819
免疫原	大腸菌で発現した MAP4K4 (aa400-500) の精製された組み換え断片。

**背景**

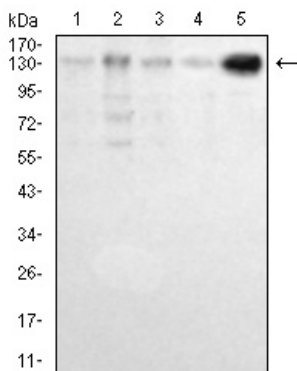
MAP4K4: ミトゲン活性化プロテインキナーゼ (MTP) キナーゼ 4。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼは MAPK8/JNK を特異的に活性化することが示されています。こ

のキナーゼによる MAPK8 の活性化は、MAP3K7/TAK1、MAP2K4/MKK4、および MAP2K7/MKK7 の優性負性変異体によって阻害されることが分かっており、このキナーゼは MAP3K7-MAP2K4-MAP2K7 キナーゼカスケードを介して機能し、TNF- $\alpha$  シグナル伝達経路を媒介する可能性があることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。

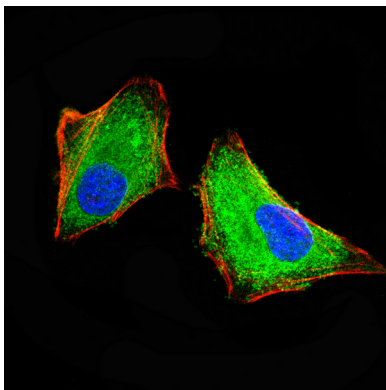
## 研究分野

MAPK シグナル伝達経路

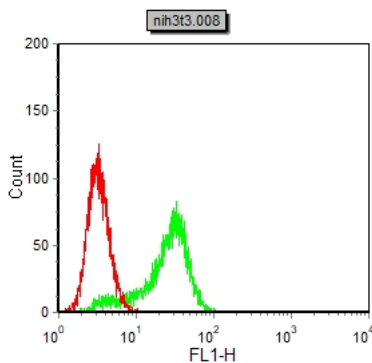
## 画像データ



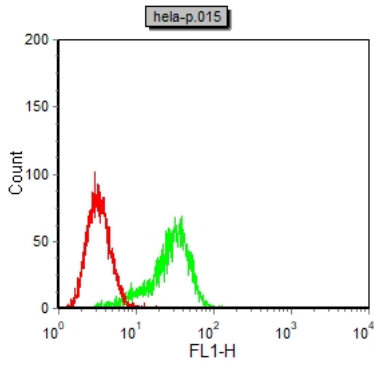
Jurkat(1)、PC-12(2)、Jurkat(3)、HepG2(4)、K652(5)ライセートに対する MAP4K4 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



MAP4K4 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



MAP4K4 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



MAP4K4 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。